



▲市議会HP



▲録画配信
(6月10日一般質問)



まつもと えいいち

松本 栄一 議員 (白和)

小・中学校の 修学旅行費に補助を

答弁…現時点で補助に踏み切るとは難しい

問 修学旅行は教育の一環で、教育的意義が大きい。県内では所沢市が本年度から小・中学生に、毛呂山町では既に中学生に補助を実施している。本市では市立学校適正規模・適正配置等計画の策定が進行中だが、現在の学校での修学旅行費を補助できないか。

答 教育環境向上や保護者の負担軽減の観点から先進自治体の事例は参考になるが、現在、学校の適正規模・適正配置等計画など将来の環境整備に注力しており、財政状況を鑑みると、新たな継続的負担を伴う制度の導入は難しい。今後は他自治体の状況を注視していく。



安全

自転車ヘルメット購入費に 補助を

答弁…さまざまな安全対策を引き続き検討する

問 自転車ヘルメットの着用が努力義務化され、親子での着用を見かけるが、未着用者が多いのが現状である。昨年の県内の自転車事故死亡者は25人で、ヘルメット未着用者が24人であった。県内では多数の市町が条件付きで補助を実施している。本市でも実施を。

答 市民への公平性や厳しい財政状況等を考慮するとヘルメット購入に対する補助金制度の創設は難しい。引き続き、広報紙、街頭指導、イベント等を通じヘルメット着用の重要性を周知するとともに、民間事業者の協力も得ながら、さまざまな安全対策に努めていく。



くろす だいいちろう

黒須 大一郎 議員 (白和)

白岡中央総合病院移転と 今後の地域医療

答弁…移転は住民の利便性や安心感を高める

問 白岡中央総合病院の白岡中学校東側への移転が、市民にとって「良かった」と思えるものになるべきだ。市は、固定資産税相当額の10年間の助成をはじめとする支援を行うが、来年12月開院に向けて経費の準備は万全か。

また、移転後の地域医療はどうなるのか。

答 地域貢献に資する機器等の取得に対する補助経費は、「企業版ふるさと納税」で積み立てた基金を有効活用する。施設の拡充や診療体制の強化は、地域医療のセーフティーネットを強固なものとし、住民の利便性向上や精神的な安心感を高めるものとする。



▲録画配信
(6月10日一般質問)

展望

ちょっと先の白岡を問う

答弁…市民の意見をまちづくりに反映していく

問 篠津村・日勝村・大山村の一部が1954年に合併して誕生した白岡。2031年には、合併から77年目を迎える。市は、第6次白岡市総合振興計画後期基本計画策定に当たり、5回にわたり、市の未来を市民と意見交換した。それを踏まえ、2031年の白岡を市長に問う。

答 先を見通すことが難しい不確実な時代ではあるが、一つ一つの事業を着実に積み重ねていくことが重要である。市民からいただいたご意見を踏まえ、より幸せを実感でき、住みたい、住み続けたいと思っていただけるまちづくりを市民とともに進めていく。